

2019年9月以降の活動についてのお知らせ

ごあいさつ

2019年7月27日の提言報告会は、みなさまの多大なご協力をいただき、おかげさまで成功裏に開催ができました。心から御礼申し上げます。その後、幹事会において今後の活動方針をとりまとめましたので報告させていただきます。NEWS LETTERは、皆様への情報提供の場として随時発信して参ります。

今後のアクションプラン

1. 方針
海外水ビジネスに役に立つ活動を継続する
2. 重点活動
 - ① ベトナム・ワーキンググループ(WG)の設置
 - ② 規制改革・自由化等WGの設置
 - ③ 「水道公論」誌上での連載の継続(テーマ物は少なくとも2020年末まで、コラム「海外水ビジネスの眼」は可能な限り続ける)
 - ④ 第4回アジア・太平洋水サミット(2020年10月19～20日)に向けた対応の準備
 - ⑤ 毎月の定例研究会に代えて、上記のWG会合(①は奇数月、②は偶数月)と幹事会の開催(WG会合に合わせて開催)
 - ⑥ 海外水ビジネス研究会ニュースレターの発行

2019年9月以降の活動

3年目に入った海外水ビジネス研究会は、海外水ビジネスに役に立つ活動を継続することを目的として、2つのワーキンググループ(WG)の開催と雑誌「水道公論」への活動成果の発表を中心として展開します。従来方式の定例会は開催しませんが、よろしければ、WG会合にご参加ください。

ベトナムWG第1回を開催しました

2019年9月19日に神保町(駅歩2分)のオリーブ会議室にてベトナムワーキンググループの第一回会合を開催し、9名が参加しました(写真)。今後、同WGは奇数月(11月21日、1月16日、3月19日)に開催して参ります。

WG会合の場所は、10月以降もこのオリーブ会議室(定員12名)を利用します。

【オリーブ会議室】

<https://www.instabase.jp/space/3326099469/catalog>



規制改革・自由化等WG

規制改革・自由化等WGが扱う課題

規制改革推進会議（2016年より規制改革会議の後継）の動向

特に公益事業関係について

市場対国家（ヤーギン）内容紹介

国家資本主義と市場原理資本主義（イアン プレマー）内容紹介

会社法を根拠法とする会社と地方公営企業法を根拠とする地方公営企業の違い

公益事業学会に於ける公益事業のあり方検討内容

電力・ガス事業の規制緩和・自由化の動向

海外における水道と電力など他事業との協業の実施例

構造分離と産業融合に関する実例整理と水道を含む展開の可能性

従来の水道事業の視点から見た得失

全体のまとめ

第1回は2019年10月17日に開催、その後は偶数月の第三木曜、すなわち12月19日、2月20日、4月16日、6月18日、8月20日に【オリブ会議室（定員12名）】で開催していきます。

海外での水ビジネスを展開する上で、将来の水道事業のあり方を幅広く考えていくことも必要不可欠であり、視野を広げて、電力、ガス、通信など公益事業全般の規制緩和、自由化、PPP、民営化の動向および関連する重要事項を研究するという趣旨で、海外水ビジネス研究会として、このWGを立ち上げることにしたものです。

2019年7月27日の提言においても、水に限定せず、エネルギーや食糧と三位一体で考えることを薦めていることから、その趣旨にも合致したものと考えられます。

東京以外での提言報告会の予定

提言を多くの方々に知っていただき、海外の水ビジネスの活性化につなげる機会を持ちたいと考え、各地で水関係の活動を展開されている組織とタイアップして報告会の開催を計画しています。9月30日には名古屋での開催（主催は、水のいのちものづくり中部フォーラム）が決まり、その後、京都11月6日、神戸12月18日の開催が予定されています。

水のいのちものづくり中部フォーラム
第24回水ビジネスセミナー

1. 日時 2019年9月30日(月)14:00~16:30
2. 場所 名古屋栄ビルディング 12階 特別会議室 (名古屋市東区武平町5-1)
3. 内容
 - 【講演】演題：『海外水ビジネスの推進に向けた提言』
 - 講師：海外水ビジネス研究会共同代表 山村 尊房氏 (W&E研究所代表)
 - 講師：海外水ビジネス研究会共同代表 工藤 克典氏 (留易投資金融アドバイザー)
 - 【意見交換】
 - テーマ：「海外水ビジネスの推進に向けた提言と海外水ビジネスの動向について」
 - 司会 水のいのちものづくり中部フォーラム顧問 山田 雅雄氏
 - 回答者 海外水ビジネス研究会共同代表 工藤 克典氏
 - 海外水ビジネス研究会共同代表 山村 尊房氏
 - 海外水ビジネス研究会オブザーバー 宇野 安氏 (UNOアナリシス代表)

雑誌「水道公論」の掲載記事

2019年9月号には、海外水ビジネスの要点を探る⑩として山口岳夫さんの「海外水ビジネスにおける競争の検討」、コラム・海外水ビジネスの眼として「インド・水問題対策に新しい省を設立」を掲載。10月号からは、提言報告会の特別シリーズが始まります。

(幹事会通信)

海外水ビジネス研究会の活動の3年目がスタートしました。研究会の運営には幹事6名が密接な連携のもとであたっています。月1回開催するスカイプ会議もその一つです。東京地区以外を活動拠点としている幹事も居ますので、スカイプは経済的にも助かるコミュニケーション手段です。また、WGにおいてもスカイプの活用を図って行きたいと考えています。